

本時の展開 (3/6)

## 1 ねらい

○飲食店の客や店員の立場になり、ていねいな表現で注文をしたり注文を受けたりすることができる。

## 2 準備

○オンライン会議システム、録画機能、アンケート集計機能

## 3 展開

学習活動 (予想される児童の姿)	指導上の留意点		アプリ等
	T1	ALT、T2	
1 【ウォームアップ】 (5分) ○あいさつ ○【Let's chant】 “I'd like a hamburger.” ○Word Link (飲み物、デザート) を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の【Let's chant】を複数行うことにより、リズムに乗りながら言語材料に触れる機会を増やす。</li> <li>デジタル教科書を用いて、“I'd like ~”の流れに乗りながら、本時に関連する語句を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の最初に英語でのあいさつや天気や曜日、日付などの質問を通し、英語を学習する雰囲気を作る。</li> </ul>	
2 【活動1】 (10分) ○Small Talk “What food do you like?” ○本時の活動について教師が実演し、めあてを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>What food do you like?やI like ... Do you like ...?といった表現を使用できる機会を設定し、既習表現の更なる定着を図れるようにする。</li> <li>児童が単元のゴールをイメージできるように、<u>G オンライン会議システムを通して ALT と T1 でオンライン上での注文のやりとりを示す。</u></li> <li>既習表現のWhat food do you like?と本時で扱うWhat would you like?を比較し、使用場面の違いに気づけるようにする。</li> <li>やりとりの内容を児童に類推させ、本時のゴールと結び付けながら、本時のめあてを設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の会話の中に入り既習表現が想起できる質問等を行う。</li> <li><u>ALT は別室に待機し、オンラインで教室と繋がる状況を設定しておく。</u></li> <li>モデルでは、相手意識を留意しながら、児童にコミュニケーション・ポイント等を気付かせ、活動の中に取り入れられるようにする。</li> </ul>	オンライン会議システム【実演】
Today's Goal : レストランで注文をしたり、注文を受けたりしよう。			
3 【活動2】 (20分) ○レストランの客や店員に分かれ、言語活動に取り組む。 ①A店で客として注文をする。 ②B店で店員として注文を聞く。 ③C店で店員として注文を聞く。 ④C店で客として注文をする。  ○中間発表を行う。 ○中間発表後の言語活動に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>T1はC店で監察の役割をする。</li> <li>児童には、①～④の役に、グループごとにローテーションで取り組むよう指示する。</li> <li>他者を意識したやりとりになるように、相手の発言をしっかりと聞いたり、反応をしたりしながら会話をするように伝える。</li> <li><u>iPad の動画機能を活用し、活動している以外の児童が会話を記録し、やり取りの姿を客観的に振り返れるようにし、中間評価に活かす。</u></li> <li>ローテーションを2周した後、工夫しながら話していた児童を取り上げ、自分のしたやり取りと比較しながら中間評価ができるようにする。</li> <li>※グループで話者を観察する時には、会話の進め方や良いところに視点を当て、友だちにアドバイスをしたり、自分の会話の中に活かしたりするよう指導する。(共感的人間関係)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALT はA店の店員、T2 はB店の客の役をすることにより、児童が言語材料を使う機械を増やし、練習回数の確保や中間評価に活かせるようにする。</li> <li><u>単元のめあてを実現するために、ALT とのやりとりはオンラインで行う。</u></li> </ul>	端末の動画機能【グループ】 オンライン会議システム【グループ】
4 【振り返り】 (10分) ○本時の学習の振り返りを行う。 S1:What food do you like? との違いがわかった。 S2: レストランなどでの注文のしかたがわかった。 S3: リアクションを使って会話がスムーズにできた。 S4: 会計の時に何と言うのだろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>アンケート集計機能を使い、個人で活動の振り返りを行うことにより、児童が自らの会話や姿をしっかりと振り返る機会を確保する。</u></li> <li>集計結果を元に、言語材料の定着や、コミュニケーションの意欲などを教師が見取り、指導への振り返りとする。</li> <li>口頭でのまとめも行い、児童の気づきの中から、飲食店の注文の際には値段を聞く必要があることに気付かせ、次時の学習へのきっかけを作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎児童の活動の様子から良かった点や課題をフィードバックし、次時につなげる。</li> </ul>	アンケート集計機能【個】

